

(様式 - 1)

栃木県公共事業事前評価・自己評価書 [県土整備部 道路事業]

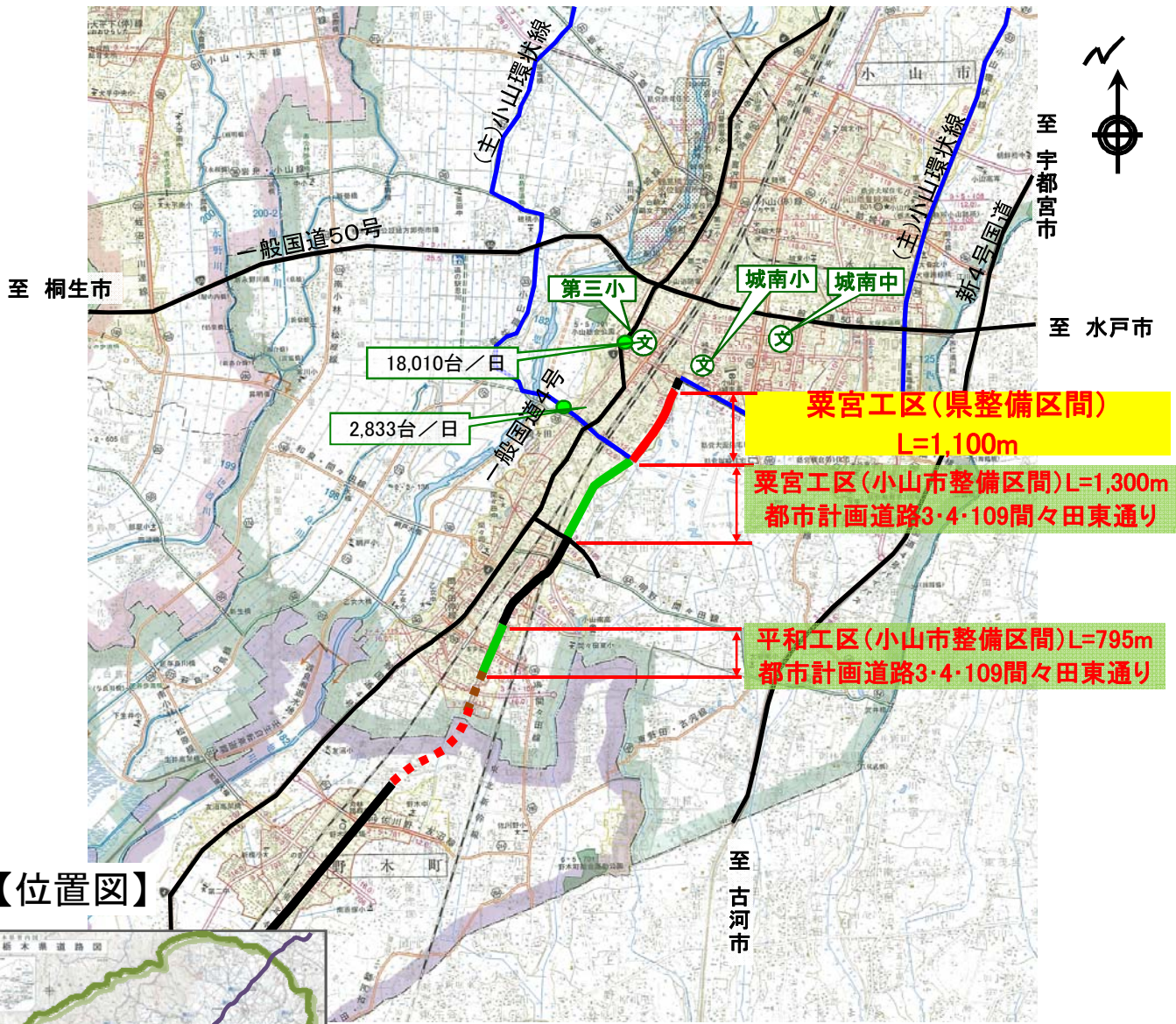
1/2

事業概要調書									
1 事業名	快適な道づくり事業								
2 事業箇所	主要地方道 ^{おやまかんじょう} 小山環状線 小山市 ^{あわのみや} 栗宮工区								
3 事業の概要	(1)事業目的 <p>主要地方道小山環状線は、市街化の進む小山市街地において、安全で円滑な交通の確保を図る上で重要な道路である。 本地域周辺では地域開発が進み、本路線と並行する一般国道4号は慢性的に渋滞しており、周辺道路網の整備が緊急の課題となっている。 そこで、環状機能の強化及び小山市街地と小山市南部の間々田地区や野木町との交流の活性化を図るとともに、国道4号の慢性的な渋滞緩和を図ることを目的とし、本路線の整備を行うものである。</p>								
	(2)事業内容 <p>【計画の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・109号間々田東通りと整合を図っている。 (S48.9.28都市計画決定) <table border="1"> <tr> <td>全体延長 : 約 1,100m</td> <td>現況交通量 (H17年) : 2,833 台/日</td> </tr> <tr> <td>道路幅員 : 16.0m</td> <td>計画交通量 (H42年) : 6,300 台/日 (B P)</td> </tr> <tr> <td>車線数 : 2車線</td> <td>設計速度 : 50km/h</td> </tr> <tr> <td>道路区分 : 4種2級</td> <td>構造物等 : -</td> </tr> </table>	全体延長 : 約 1,100m	現況交通量 (H17年) : 2,833 台/日	道路幅員 : 16.0m	計画交通量 (H42年) : 6,300 台/日 (B P)	車線数 : 2車線	設計速度 : 50km/h	道路区分 : 4種2級	構造物等 : -
	全体延長 : 約 1,100m	現況交通量 (H17年) : 2,833 台/日							
	道路幅員 : 16.0m	計画交通量 (H42年) : 6,300 台/日 (B P)							
	車線数 : 2車線	設計速度 : 50km/h							
道路区分 : 4種2級	構造物等 : -								
(3)事業予定期間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度～平成26年度</td> <td>用地調査、用地取得</td> </tr> <tr> <td>平成27年度～平成28年度</td> <td>工事実施</td> </tr> </tbody> </table>	期 間	事 業 内 容	平成24年度～平成26年度	用地調査、用地取得	平成27年度～平成28年度	工事実施		
期 間	事 業 内 容								
平成24年度～平成26年度	用地調査、用地取得								
平成27年度～平成28年度	工事実施								
(4)事業費及び内訳	<table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>約 15 億円</td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> 工事費 : 約 5.0 億円 用地補償費 : 約 9.5 億円 測量設計費 : 約 0.5 億円 </td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国費 : 55%、県費 : 45%</td> </tr> </table>	事業費	約 15 億円	事業費内訳	工事費 : 約 5.0 億円 用地補償費 : 約 9.5 億円 測量設計費 : 約 0.5 億円	財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%		
事業費	約 15 億円								
事業費内訳	工事費 : 約 5.0 億円 用地補償費 : 約 9.5 億円 測量設計費 : 約 0.5 億円								
財源内訳	国費 : 55%、県費 : 45%								
(5)事業発案の経緯・背景	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域開発が進み、周辺道路網の整備が緊急の課題となっている。 2 野木・小山間道路整備促進協議会からの早期整備の要望がある。 								
4 県計画への位置付け	<p>栃木県の道路・交通分野の将来構想である「人にやさしい県土60分構想」に基づき、都市内における拠点を結ぶとともに地域の生活を支える安全で快適な道路づくりを目指す。</p>								
5 他計画・他事業との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3・4・109号間々田東通り (栗宮工区) (市事業) ・ 3・4・109号間々田東通り (平和工区) (市事業) ・ 上記の平和工区の南側、小山野木間の都市計画道路決定の手続きを実施予定。 								
所轄部課名	県土整備部 道路整備課								

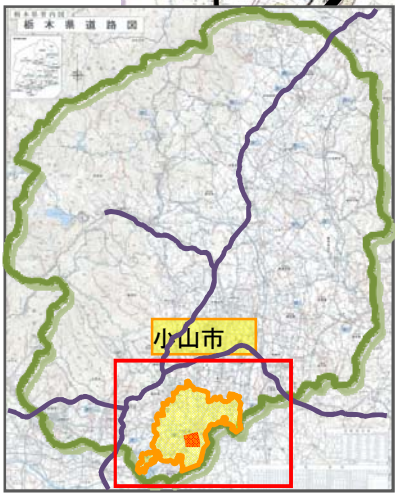
別添図面・・・事業位置図

事業評価調書	
事業名	快適な道づくり事業
1 事業の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・本工区は、市街化の進む小山市街地の環状機能強化のため、事業着手する必要がある。 ・周辺の地域開発が進み、本路線と並行する一般国道4号が慢性的な渋滞を起こしているため、周辺道路網の整備の一つとして本工区の整備が必要である。 ・小山、野木間の南北を結ぶ重要な路線となるため、広域的交流及び物流機能の強化のためにも早期に事業着手する必要がある。
2 事業の適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・本工区南側において、小山市施工により3・4・109号間々田東通りの整備が進んでおり、粟宮工区が平成26年度に、平和工区が平成28年度に供用開始する予定である。
3 事業の適地性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・109号間々田東通りの法線と整合を図っている。 (S48.9.28都市計画決定)
4 事業手法の適切性(県が事業主体となる理由等)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道小山環状線の道路管理者である県が事業を実施する。
5 事業により予想される効果及び影響	<ul style="list-style-type: none"> ○経済効果 (完成2車線) <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比(B/C) 1.6 ・総便益(B) 21.8億円 <ul style="list-style-type: none"> ※ 総便益は、供用後50年間の効果を金銭に換算したもので、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少効果等の合計である。 ・費用(C) 13.9億円 <ul style="list-style-type: none"> ※ 費用は、建設費に供用後50年間の維持管理費を加算している。 ○生活改善 <ul style="list-style-type: none"> バイパスを整備することにより、円滑な交通の確保が図れる。 ○生活圏の活性化 <ul style="list-style-type: none"> 小山市と野木町の連携が強化され、地域間交流の活性化が図れる。 ○経済支援 <ul style="list-style-type: none"> 小山市街地東側における南北の幹線道路が整備されることにより、物流機能の強化が図れる。 ○環境改善 <ul style="list-style-type: none"> 円滑な交通を確保することにより、温室効果ガスや大気汚染物質の排出が軽減され、沿道の環境を改善することができる。
6 事業コスト縮減等の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事コスト縮減行動計画2010(平成22年7月栃木県)に基づき、設計・施工各段階においてコスト縮減を検討する。

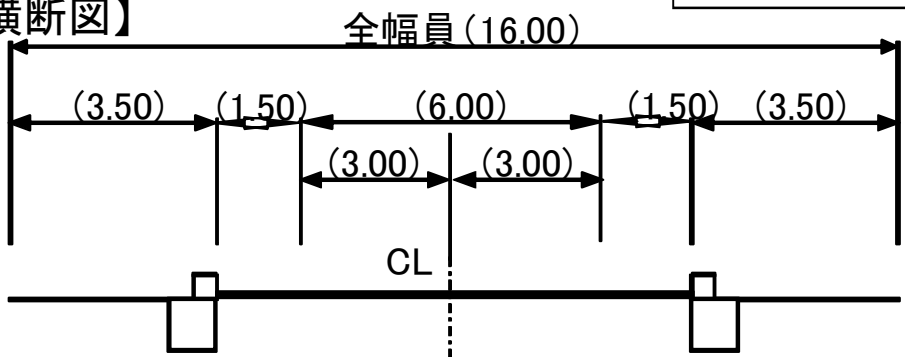
主要地方道 小山環状線 位置図 S=1:50,000



【位置図】



【標準横断図】



【凡例】

栗宮、平和工区（小山市整備箇所）	■
未事業化区間	■
都市計画道路策定区間	■
栗宮工区（評価箇所）	■
供用済箇所	■
現道	■